

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	陶磁器デザイン	2	3, 4	セラミック	選択	なし

1. 学習の到達目標

セラミックの基礎的技術（陶磁器に関する装飾技法）を体験させ、陶磁器に関するデザインへの興味・関心を高める。

（1）陶磁器に関連するデザインの意義や役割を理解させるとともに、陶磁器産業の発展と広い視野の育成及び意欲的な態度を育てる。

（2）陶磁器のデザインをするうえで必要なデザイン力や、陶磁器成形に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に創造し応用する能力と態度を育てる。

2. 学習の評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	加飾技術に関する基礎的な知識や取り扱い方を身につけているか。 制作時に用いる道具を的確に使用できているか。 隅々まで神経を使い、課題制作を行っているか。 課題の達成にふさわしい技術・技能が発揮されているか。	作業進行の手順が適切であるか。 課題が適切に制作されているか。 基本的な知識、技術を活用し、一連の作業を進めていく能力を身につけているか。	授業にふさわしい服装であり、心構えが適切か。 授業態度が良好であるか。 課題の製作手順が妥当で課題が期限内に提出されているか。 掃除などが適切になされているか。
評価の方法	授業態度、学習の取り組み状況、課題・制作品などの提出物の状況などを総合的に判断して評価します。		

3. 教科からのメッセージ

1年間で伝統的な地紋の描画方法、陶磁器への加飾技法の実習（生素地への彫刻、素焼き素地への絵付け）を学習します。また、授業を通じてセラミックの基礎的な知識、技術を身につけることができます。作業を進める上で効率よくできるように自分で工夫し行動しよう。自分で計画し制作、完成させるという行程を進めていくことで、ものづくりのすばらしさを感じ、デザイン技術への興味・関心を深めましょう。

年間指導計画 科目名 陶磁器デザイン 2 単位 3, 4 学年

学期	月	学習項目 (単元・考査等)	主な学習内容
前 期	4	地紋の作図	●地紋の描画方法
	5		①各種地紋の作図方法を習得する。
	6		②全員異なる地紋を選択し、作図する。
後 期	7	下絵付け	●平皿へ下絵付け
	9		②においてできた作図をもとに、下絵付けを行う。 図案を器に写す作業と道具の使用方法を理解する。
	10		●六寸皿へ上絵付け
後 期	11	上絵付け	下絵付けにおいて習得した技法をもとに、上絵付けの技法 を学ぶ。
	12		図案は、鍋島文様、今右衛門様式の図案を見本にする。
	1		
	2		
	3		